

茨城県で2例目の豚流行性下痢が発生

●茨城県1例目発生概要

農場の所在地 : 茨城県県央部

農場の飼養状況 : 1,665頭(種豚15頭、母豚150頭、子豚1500頭)

発生頭数 : 種豚2頭、母豚21頭、子豚165頭(うち死亡約131頭)

確認までの経緯 : 11月9日から、嘔吐と下痢を示す母豚がみられ、その哺乳豚において嘔吐、下痢及び死亡がみられた。

遺伝子解析 : 10月に沖縄県で分離された株とごく近縁。

●茨城県2例目発生概要

農場の所在地 : 茨城県県央部(1例目農場から約600m離れている。)

農場の飼養状況 : 1,720頭(種豚20頭、母豚200頭、子豚1500頭)

発生頭数 : 種豚4頭、母豚34頭、子豚180頭(うち死亡約103頭)

確認までの経緯 : 11月24日、母豚1腹の哺乳豚全頭で下痢を確認。翌日12腹の哺乳豚で下痢を確認。当該母豚の下痢、嘔吐はみられなかった。

その後、他のストール・交配舎の母豚、種雄豚で下痢、嘔吐を確認。

遺伝子解析 : 10月に沖縄県で分離された株、茨城県1例目とごく近縁。

*当該農場では、母豚へのワクチン接種を実施している(11月17日)。

1例目発生農場との疫学関連は確認されていない。周辺農場に異常なし。

●豚流行性下痢(PED)とは

原因 : コロナウイルス科に属するPEDウイルスの感染によって発症。

症状 : 日齢に関係なく下痢(主に水様性下痢)を起こす。致死率は日齢が進むにつれて低下。繁殖豚、肥育豚の下痢は1週間程度で回復するが、哺乳豚は脱水により約50%の致死率、時には100%死亡する。

対策 : ウイルスの侵入防止、市販ワクチンの母豚への接種

- 豚流行性下痢の原因ウイルスは糞中に排せつされ、主に経口感染します。
- ウイルスは家畜の移動、ヒトの出入り、特に糞便に汚染された車両、靴底、衣服や器具などによって伝播します。

- 農場に出入りする車両の消毒を徹底しましょう。
- 畜舎への出入りの際は靴底・手指の消毒を行いましょ
- 衛生管理区域専用の衣服及び長靴を着用しましょ
- 飼養衛生管理基準を遵守しましょ

☆健康観察を行い、異状があれば獣医師または家畜保健衛生所に連絡してください！

神奈川県湘南家畜保健衛生所

<本所>

〒259-1215 平塚市寺田縄 345
TEL : 0463-58-0152
FAX : 0463-58-5679

<西部出張所> (足柄上合同庁舎第2別館3階)

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2
TEL:0465-83-3003
FAX:0465-82-6330